

2 4 陳 情 第 3 2 号	早稲田幼稚園廃園撤回三年保育での存続を求める陳情
付 託 委 員 会	文教委員会
受 理 及 び 付 託 年 月 日	平成 2 4 年 9 月 2 8 日 受 理、平成 2 4 年 1 0 月 2 日 付 託
陳 情 者	新宿区原町————— ————— 代 表 —————
<p>(要 旨)</p> <p>(1) 早稲田幼稚園の廃園を撤回してください。</p> <p>(2) 早稲田幼稚園を三年保育で存続させてください。</p> <p>(理 由)</p> <p>(1) 「区立幼稚園のあり方の見直し方針 (案)」において、「地域バランス」の面という理由だけで廃園とされてしまいましたが、子ども園化する予定の区立保育園が幼保連携型なのか保育所型なのか、中短時間をどれだけ受け入れできるのか、なにも決定していない状況で早稲田幼稚園が廃園になった場合に、はたして受け入れ先があるのか、保護者や地域の方の不安が高まっています。「区立幼稚園のあり方の見直し方針 (案)」において、「地域バランス」で早稲田幼稚園に近隣している園として示されている鶴巻幼稚園が、平成 2 3 年 2 月に発表されている「新宿区子ども園化推進検討委員会 最終報告」では、子ども園化する方向で検討されていました。</p> <p>となると、仮に鶴巻幼稚園が子ども園化された場合、3 歳児は保護者の就労条件が伴ってしまうため、受け入れ先のない子供達が増えてしまうことになります。</p> <p>(2) (1) で述べたような支障が出てしまうことから、早稲田幼稚園を三年保育で存続させれば、受け入れ先のない子供達が増えてしまうこともなく、広い土の園庭、大きなプールでの伸び伸びとした教育を継続して行うことができます。</p> <p>そして、兄弟姉妹の通う小学校が併設していれば、震災があったとしても子どもの引取りが安心かつスムーズに行え、また、ファミリー型のマンションも増えていることから入園希望者の増加の可能性にもすばやく対応が出来ると思われます。</p>	